

ぬり絵入門コース号外 歌川広重「東海道五十三次」 【2025年11月17日(月)ミニサロン】

ぬり絵入門コースでは、現在歌川広重の『東海道五十三次』のぬり絵にチャレンジしています。

今回は11月17日(第3月曜日)ぬり絵入門コースでの、あけぼの先生の劇的添削の6作品について解説いたします。

※画像:刀剣ワールド浮世絵 文:Canon Creative Parkを参考にしました



平塚 縄手道(江戸から7番目の宿場)
神奈川県平塚市

手前の丸い山は高麗山、右手の鋭角な山は大山、その間から富士山が顔をのぞかせます。街道はくねりながら遠ざかり、奥行きを演出しています。松の脇を通過する一瞬を捉えた飛脚の表情も注目です。



大磯 虎ヶ雨(江戸から8番目の宿場)
神奈川県中郡大磯町

「曾我兄弟の仇討ち」の曾我十郎は仇討ち後に命を落としました。悲しんだ大磯の遊女・虎御前の涙を雨に見立てて梅雨の雨を「虎ヶ雨」といいます。人物を後ろから描き、静謐な雰囲気を作り出しています。



小田原 酒匂川(江戸から9番目の宿場)
神奈川県小田原市

酒匂川を渡れば小田原です。箱根の山の麓に小田原城が小さく描かれています。旅人は輦台に乗ったり、肩車したりと様々な方法で川を渡っています。



箱根 湖水図(江戸から10番目の宿場)
神奈川県足柄下郡箱根町

箱根の山道を大名行列が肅々と進んで行きます。険しい岩山を色彩豊かに表現しています。芦ノ湖を取り囲む山々の向こうには真っ白な富士山が見えます。



三島 朝霧(江戸から11番目の宿場)
静岡県三島市

背後の鳥居は三島大社の参道入り口に立っています。朝霧の中を待つ旅人の一群を中央に配しています。背景は輪郭線がなく、徐々に薄くなる描写で遠近感と霧が立ちこめる雰囲気を表しています。



原 朝之富士(江戸から13番目の宿場)
静岡県沼津市

鋭角的な山容の愛鷹山の向こうに富士山が描かれています。富士山の頂上は絵の枠から飛び出しています。これによって富士山の高さを強調しています。北斎の「富嶽三十六景」を意識した構図です。

あなたも、「ぬり絵入門コース」に参加しませんか。毎月第1および第3月曜日のミニサロン開催日に、午後1時30分から、朝日二丁目集会所で開催しています。参加費無料 色鉛筆を持参してください。あけぼの(さかい ひろみ)先生に指導をお願いしています。まずは見学、そしてお試し参加…大歓迎です。